



大好き！絵本

初瀬 恵美



毎日暑い日が続きますね。カラッとして乾燥しているといいのですが、湿度もかなりあり、少し外にいただけで汗だくになってしまいます。こんなときは、水遊びや沐浴で体をさっぱりしたいものですね。しかし、実は水の中でも沢山の汗をかき、発汗によって水分が失われているので、ご家庭で水遊びをされる際は、こまめな水分補給も忘れないように気をつけてあげてくださいね。

さて、今月は『だめよ、デイビッド!』という絵本を紹介したいと思います。タイトルと表紙から分かるようにデイビッドは、目についたモノ、思い立ったことは即行動する元気な子。だから、ちょっと危なっかしいと大人が思うこともしたり、部屋を汚してしまったり、モノを破壊してしまったり・・・が日常茶飯事のように。ママの口癖は「だめよ、デイビッド!」まさしくタイトル通り!

園にいるちょっと元気な子と一緒に絵本を見ました。すると表紙から「あ! あぶない。だめよねー。」というので、クスリと笑ってしまいました。自分の事はさておき、他の子の事はよく目につくというのは、子どももあるあるで、その子は「だめよね」といいながらも、笑みをうかべながら絵本に釘付けでした。

絵本に登場するこの元気な主人公、実は作者さん自身がモデルでした。デイビッドシリーズは何冊かありますが、『デイビッドがやっちゃった』の巻頭で、作者さんはこんなことを書いていらっしやいます。「ママがデイビッドに『だめよ』と、お小言を言うのは、危ない目に合わないか心配したり、立派な大人になって欲しいと願っているから。だから、ママのことばの本当の意味は『愛してるわ』ということだし、言い訳しているデイビッドが本当に言いたいのは、『ぼく、しっばいしたくないんだ』ということだろうね。」と。『だめよ、デイビッド』の中で、デイビッドは言い訳をしていますが、表情は真剣だったり、「何?」という顔だったり、「だいじょうぶだよ~!」という顔をしています。いろんな行動にも意味があることを表情が物語ってくれているようです。

例えば右の挿絵をごらんください。「**おうちの なかで しない、デイビッド!**」というママの声。この時のデイビッドの顔は、どんなふうに感じますか? 私には、「このボールを打ちたくてたまらない。ただそこに夢中になっている顔」にみえます。人により、解釈はさまざまで全くそんな風に感じない。ただいたずらな顔にみえるとかあるかもしれませんね。正解は作者さんの中にはないので、解釈はいろいろでいいと思います。



では、その次の挿絵はどんなふうに感じますか? 私はボールが花瓶にあたり、割れてしまって、はじめて「失敗」に気がついた。そんな感じにうけとれました。シヨンポリとした顔と哀愁漂う背中・・・なんだか自分でも経験したことがある痛みを感じました。ママは「**ほうらわかったでしょ デイビッド!**」と一言。どんな感じのトーンだったのでしょうかね。



次のページを開くと(挿絵はありませんが)「**デイビィ、こっちにおいで**」というママの声。きっと、優しい声だったのでしょうかね。

そして最後は「**よしよし、デイビッド・・・だいすきよ!**」で終わっています。

この、最後のデイビッドの表情をみると、ママの偉大さがとてもよく分かります。「ごめんね」も「ゆるしてくれてありがとう」も「ママだいすき」もすべて含まれているような表情だと思いました。

私ならば、わが子が同じような事したら、感情的に怒ってしまいそうです。

元気なお子さんがいて、もし手をやいている方がいたら、ぜひ読んでいただきたい絵本だと思いました。もしかしたら、最後のデイビッドの表情に救われるかもしれませんよ。そして、作者さん自身の経験談のような絵本なので、今は大変な事が多いけれど、いつかは時が過ぎ、成長し、振り返るときがくることもそっと気づかせてくれる絵本になるかもしれません。

